

## 第28回 全札幌市中学生柔道体重別選手権大会開催要項（案）

1. 目的 本大会は、札幌市に在住の中学生に広く柔道実践の機会を与え、技術向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学校生徒の育成と、相互の親睦を図るものである。
2. 主催 札幌柔道連盟
3. 後援 札幌市中学校体育連盟、北海道新聞社
4. 期日 平成29年5月6日（土）
5. 会場 北海道立総合体育センター〔通称 北海きたえーる〕 サブアリーナ
6. 参加資格 参加者は、札幌市内の中学校に在学する中学生で、2017（平成29）年度の全日本柔道連盟競技者登録をすること。

7. 大会日程	*開場 9:00～10:00 会場設営 1. 計量 10:00～10:30 2. 審判会議 10:30～10:40 3. 監督会議 10:40～10:50 4. 開会式 10:50～11:05 5. 競技開始 11:05～ 6. 閉会式 16:00（予定） *会場撤去 16:20～
---------	--

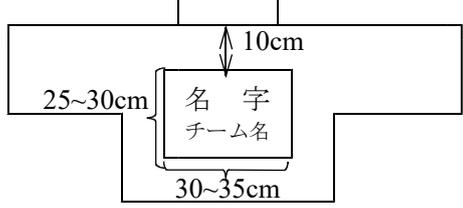
【開会式次第】		
1. 開式宣言	札幌市中体連柔道専門委員長	東 伴明
2. 大会長挨拶	札幌柔道連盟会長	丸山 淳士
3. 競技上の注意	審判長 北海道中体連柔道専門委員	中川 秀樹
4. 選手宣誓	札幌市立〇〇中学校柔道部主将	〇〇 〇〇
5. 閉式宣言	札幌市中体連柔道専門委員長	東 伴明
【閉会式次第】		
1. 開式宣言	札幌市中体連柔道専門委員長	東 伴明
2. 成績発表 表彰	札幌市中体連柔道専門委員	片岡 純一
3. 閉式宣言	札幌市中体連柔道専門委員長	東 伴明

8. 引率者 全日本柔道指導者登録をしたチームの指導者・監督が引率すること  
（少年団で登録をする選手の監督は少年団の指導者が務める。）
9. 競技方法 (1) 体重別個人戦とし、トーナメント戦方式で行う。ただし、参加者が8名に満たない階級については、リーグ戦方式とする。  
(2) 体重別8階級とし、以下の区分で行う。

男	子	女	子
90kg 超級 (90kg 超)		70kg 超級 (70kg 超)	
90kg 級 (81kg 超～90kg 以下)		70kg 級 (63kg 超～70kg 以下)	
81kg 級 (73kg 超～81kg 以下)		63kg 級 (57kg 超～63kg 以下)	
73kg 級 (66kg 超～73kg 以下)		57kg 級 (52kg 超～57kg 以下)	
66kg 級 (60kg 超～66kg 以下)		52kg 級 (48kg 超～52kg 以下)	
60kg 級 (55kg 超～60kg 以下)		48kg 級 (44kg 超～48kg 以下)	
55kg 級 (50kg 超～55kg 以下)		44kg 級 (40kg 超～44kg 以下)	
50kg 級 (50kg 以下)		40kg 級 (40kg 以下)	

10. 競技規則 (1) 改正された国際柔道連盟柔道試合審判規定(2017-2020) および国内における「少年大会特別規定」による。  
(2) 試合時間は3分とする。試合時間内に優劣がつかない場合はゴールデンスコア（延長戦）で決する。（ゴールデンスコアは時間無制限とする。）  
(3) 試合時間内において、試合は「一本」、もしくは「技あり」のテクニカルスコアでのみ決着がつくものとする。「反則負け」を除き、「指導」（1回目、2回目）の違いだけでは勝者を決定しない。「指導」は、相手のスコアとはならない。  
(4) 規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、その試合はゴールデンスコアに突入する。規定の試合時間内に与えられたスコアならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、ゴールデンスコアは直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。

- (5) ゼッケンについては、氏名とチーム名を、次の要領にて必ず用意すること。  
つけていない場合は失格とする。(ただし、登録チーム名でなくても可とする。)
- (6) 柔道衣コントロール(検査)については会場で測定器を用いて自分で行うこと。

<p>《ゼッケンについて》</p> <p>(1) 布地は白色(晒・太綾)</p> <p>(2) サイズは横 30 ± 3cm 縦 22 ± 3cm</p> <p>(3) 名字(姓)は、上側 3分の2 学校名・所属名は下側 3分の1</p> <p>(4) 書体は太ゴシック体 男子は黒色、女子は赤色</p> <p>(5) 縫いつけ位置は、柔道衣後襟から 10cm 下部</p> <p>(6) 四辺および対角線を強い糸で縫いつけをする</p>	
---	--

11. 表彰 各階級毎に優勝・準優勝・第3位(2名)に賞状とメダルを授与する。
12. 参加料 1人1,000円(傷害保険加入料を含む)を申し込みと同時に納入すること。
13. 申込方法 (1) 別紙申込用紙に記入し、原本を 4/21日(金)必着 で送付する。  
(平成29年5月6日現在の所属チーム名、学校名、学年を記入願います。)
- (2) 申込先

〒003-0004 札幌市白石区東札幌4条5丁目1番1号  
札幌市立日章中学校 とよた こうじ 豊田 幸司 宛  
(職場電話番号 011-831-6196)

- (3) 申し込みに関して、学校の部活動で出場するのか、クラブ・道場・柔道教室から出場するのかを必ず生徒に確認し、申し込み漏れのないように注意してください。
- (4) 注意事項
- ・申込用紙の原本を送付すること。なお、用紙記入欄が不足した場合はコピーしてお使いください。
  - ・庁内メールまたは郵送または持参すること。
  - ・FAXは不可
  - ・4/20(木)予定の札幌柔道連盟総会の時に持参いただいても結構です。
14. 脳震盪対応 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記の事項を遵守すること。
- ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
- ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- エ 当該選手の指導者は、大会事務局(札幌柔道連盟)及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
15. 皮膚真菌症(トングランス感染症)について  
皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。
16. その他 (1) 監督会議および審判会議は、開会式前に行う。
- (2) 指導者の方に審判をお願いする場合がございますので服装にご留意ください。  
(審判員は全柔連指定の服装・ネクタイ)
- (3) 申し込み後の選手の変更は認めない。
- (4) 正式に段位書が発行されている有段者は黒帯を用いること。なお、女子については白線入り帯も可とする。
- (5) ゴミの持ち帰りや迷惑駐車等の禁止等、応援のマナー向上にご協力願います。
- (6) 参加資格について、学年による制限は設けませんが、特に新1年生は技能面をよく考慮し、試合に耐えうるかどうかを判断して申し込みをすること。
- (7) 主催者は、大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。万一の事故に備え、各チーム独自で万全の事故対策を立てておくこと。
- (8) 本開催要項(案)と選手登録申込用紙のファイルは SAPPORO JUDO PRESS のホームからダウンロード可能にしていますのでご活用ください。